

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670700535
法人名	有限会社 マエダ
事業所名	グループホーム ねせぶ
所在地	鹿児島県奄美市名瀬根瀬部242番地1 (電話) 0997 - 55 - 6650
自己評価作成日	平成29年11月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームねせぶは根瀬部集落にある。根瀬部集落は奄美市と大和村の境界に位置し、自然に囲まれ、海岸まですぐ近くである。集落は畑や小川があり、近くの家から機織りの音が聞こえる長閑な集落である。車の交通量も少ないので、入居者も安心して散歩や散策が楽しめる。グループホームねせぶは、そうした集落の方々が行う集落行事や地域活動に積極的に参加しながら地域との交流を大切にしている。また、近くの小学校・保育所とも連絡を取り合い、お遊戯会への参加やグループホームへの訪問なども行っている。こうした地域との連携が災害時に入居者の安全確保に繋がると考え、特に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは小中学生の体験学習の受入れ、認知症サポーター養成講座講師の受入れ、管理者は地域の壮年団に加入し各行事に参加するなど、地域との交流が日常的に行われている。
- ・職員は毎朝の申し送りで事業所の理念を唱和、一日の利用者との接し方など確認し、職員は理念を共有し実践に繋げている。
- ・年間計画で、身体拘束・プライバシーを損ねない研修を職員が交代で実施している。職員は看護師・介護福祉士の有資格者が多く、常にケアの在り方・筋力低下防止・誤嚥予防・口腔体操などを取り入れ、自立に向けたケアを意欲的に行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、業務引継ぎの際、必ず職員1人ひとりが声を出して理念を読み、介護目標を理解し勤務に取り組んでいる。	毎朝の申し送りで事業所の理念を唱和し、一日の目標や心構えを確認している。美味しく食事ができるようになど、理念が活かされ実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間行事として地域の行事へ出席等、積極的に地域交流を行っている。	小中学校の体験学習の受入れ、認知症サポーター養成講座の講師を受入れたり、集落の行事にも参加している。管理者は地域の壮年団員として地域行事に参加する等、日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議へ出席して下さる地域の方など関係者を通じて認知症の理解や支援の方法を地域に活かせるよう努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、行政・家族・職員間で話し合いを行っている。話し合った内容を日々のケアサービスにつなげている。	2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。参加者の情報で集落の行事に参加することやケアの相談など、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日常業務の中でも必要な時に、市町村の担当者と連絡をとり指導・意見を伺っている。</p>	<p>市の担当職員とは連携を図って介護保険の更新や感染症予防など、指導や意見など伺っており常に協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について勉強会などを行い、職員間で理解を深め、身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>年間計画により担当職員が研修資料を作成し職員会議で勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。徘徊のある利用者には職員がついて散歩している。玄関の施錠は夜間のみ行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>月1回の職員会議や、ケース会議などの中で研修を行い虐待防止に努めている。</p>	/	
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関係機関と協力し、必要な方には活用できるよう支援している。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所・退所時に行われる契約・解約時には、家族が不安にならないよう十分に説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの要望は面会にいらした時や行事に参加された時など、様々な機会に伺わせていただき、日々のケアに取り入れるよう努めている。</p>	<p>意見箱を設置している。面会時や行事の参加時に思いを聞くようにしている。更衣のことや身体機能の事で、立ち上がり訓練や体操などを取り入れている。筋力低下防止につながるなど運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議・ケア会議の中で、職員からの運営に関する意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議は月1回、ケア会議1回行って意見等を聞いている。要望で食器洗浄機の購入を行い、時間の短縮が図られその分ケアに活かされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は就業年数・実績などを給与に反映させており、職員が向上心をもって働ける職場環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム連絡協議会などの研修会に職員が出席できるよう努め、介護福祉士などの資格取得においても支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連絡協議会の研修会・懇親会等に職員が参加し、他の施設職員と意見交換や交流機会等が出来るよう心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者と会う機会を多く持ち気兼ねなく話し合える雰囲気づくりや本人が困っている事を話しやすいような関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族が介護する際困っていた事など詳しく聞き取り、入居しても利用者・家族が不安にならないよう配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族からの要望を聞き取り、他のサービス利用も検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者から昔ながらの習慣・料理の仕方などを学びながら、利用者により良い関係を築くよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月利用者の日頃の状況を家族へ伝え、把握してもらい、必要な時には電話連絡などを行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や友人とより良い関係であるよう支援している。また、ドライブなどの途中で親しい方の家に寄りかかっている。</p>	<p>買い物途中に親戚や親しくしていた知人の家に立ち寄る事もある。家族に面会を促し来てもらう事もある。家族が食事に連れていくなど、馴染みの関係が途切れないよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>テーブルや腰掛けの位置を配慮したり、話の合う方を近くにするなど、1人ひとりが孤立しないように心掛けている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所となった場合でも、その後も必要に応じて連絡を取り支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で示した小さな仕草や行動を注意深く観察して本人の意向や希望を把握するよう努めている。困難な場合は家族を含めて検討している。	日常生活の中で、希望や意向などを把握し、日誌に記録し申し送りで職員で共有している。困難な場合は家族と話し合い職員でも検討し、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族・関係者からの情報収集に努め、その情報を日々のケアにつなげるように心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の生活の中で出来る事を探し、日々のケアに反映させるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族・関係者の意見や入所前のプランも参考にしながら介護計画をたて、毎月ケア会議を行い利用者に合わせた介護計画を作成している。	本人・家族・各関係者で話し合い介護計画を作成している。毎月ケア会議でモニタリングを行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケアで気付いた事や工夫できる事をケア会議などで話し合い、職員間で情報を共有しながら実践するよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の希望を尊重し、その時々生まれるニーズに対して、関係機関と協力し、社会資源を活用できるよう支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>集落散策等しながら、集落の方々とふれあい、地域で安心・安全に過ごせるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望する医療機関を確認し、かかりつけ医を決め、受診・往診の支援をしている。</p>	<p>本人・家族の希望する医療機関を利用している。主治医の訪問診療を受けている。他科受診の場合は家族が連れていく事もある。行けないときは職員が行っている。緊急の場合を除き、受診・訪問診療などの報告は報告書にて連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ケアの中での変化はその都度看護師へ報告し、適切な受診・看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際は細かい情報交換を行い、混乱なく安心して治療できるよう、また早期に退院できるよう病院関係者と相談など努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した時の事を家族と折りにふれて話しをしている。重度化した場合、指針に基づき医療機関と連携をとり、チームで支援する体制を整えている。</p>	<p>重度化や終末期にむけた方針は入所時に行っているが、重度化した時は医師の判断で家族と話っている、医療機関と連携を図り家族が望む場合は家族の協力の下で看取りの支援も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の救急処置・防災訓練を定期的に行い事故発生時に備えている。応急処置マニュアルを作成し対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防団と協力体制を築き、緊急時に対応できるよう努めている。また職員間では会議などで対策を話し合っている。</p>	<p>年2回夜間想定を含め災害訓練を行っている。集落の災害訓練にも参加している。消防団から台風時の声かけなどの協力体制ができている。備蓄の飲料水・食糧など、準備できている。台風時の発電機も準備できている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者1人ひとりを尊重し、誇りを損ねない対応・分りやすい言葉かけを心掛けている。	プライバシー確保の研修は交代で職員が研修資料を準備し勉強会を行っている。誇りを損ねないような言葉かけや方言で話しかけるなど利用者に合わせ対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思いや希望が話せるような雰囲気づくり、介護者が先回りして答えを出さないよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の業務の流れを優先せず、1人ひとりのペースをよくみて支援していくよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者の好きな衣類を選んだり、美容師に、本人の好みの髪型にしてもらったりとおしゃれを楽しむ事が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の準備などを職員と利用者が一緒に行い、食事をするだけでなく、出来る過程なども楽しんでいる。また、出来る範囲で後片付けも手伝っていただいている。	野菜の下拵えや台拭き・お盆拭き・後片づけ・食器洗いなど職員と一緒にしている。テラスでのお茶や無人販売へ野菜の買い出しに行ったり、ヨーグルトを運ぶ等、食事を楽しむ支援ができています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事摂取量や水分量はチェック表に記入し、1人ひとりの状態・習慣に応じて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの支援を行い、清潔保持に努めている。必要に応じて協力歯科の口腔チェックや治療を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者のペースに合わせてトイレへ定期的に誘導し排泄を促している。	個々の排泄パターンでトイレ誘導を行っている。排泄チェック表で確認し時間を見てトイレへ誘導し、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日十分な水分補給、ラジオ体操、歩行運動を心掛けている。排泄の状態はチェック表に記入し便秘傾向にある時は牛乳やスキムミルクなど利用し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は定期的に行い清潔に努めている。利用者の希望時は、その都度入浴できるよう支援している。	週2回入浴支援を行っている。拒否される利用者には時間や声掛け・人を変えるなど工夫し対応している。足浴から全身浴をされることもあり個々に応じた入浴の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間あまり眠れない時は昼夜逆転にならないように配慮しながら、ソファや利用者のお気に入りの場所で休息してもらうなど支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に、薬の作用・副作用などを職員間で理解するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活してきた中で得意な事や・楽しみを家族や本人から聞き、その事がグループホームで継続できるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>関係機関や家族と協力し、利用者が望む場所に出かけられるよう支援している。</p>	<p>日常的には事業所周辺や集落内の散歩・テラスでの体操・レクリエーションなどで外出支援を行っている。家族や関係者の協力で、年3回ほど、花見等に出かけている。利用者が望む場所に出かけられるよう支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を希望される時は、ご家族・ご利用者に納得して頂き、お金の所持・身の回りの支払いをしてもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族・知り合いに手紙を書いたり、家族への電話も必要に応じて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気持ち良く過ごして頂けるよう清掃、空調管理に努め、季節の花や食材等で季節感を味わってもらったりしている。	天井が高く明るく広々としたホール内は、温度・湿度に配慮し、島唄や童謡などの音楽が流れている。クリスマスツリーが飾られ季節を感じさせる。壁に張られた体験学習の生徒と一緒に写真も飾られ、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダ・玄関先の椅子やソファ等で自由に思い思いに過ごしてもらっている。また、仲の良い人同士がテレビや会話ができるよう席の位置等も配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	寝具・家具・小物など、馴染みの物を部屋に置けるよう家族と話し合いながら支援している。	居室の入り口には名前入りの表札があり、テレビや寝具・衣類・小物など、使い慣れたものが置かれている。本人が生活しやすいように工夫され居心地よく暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	日々のケアの中で利用者の出来る事を探し、利用者の生活に活かせるよう支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない